

日本英語学会第 35 回大会公開特別シンポジウム

音声研究の英語教育への貢献

参加費無料
事前登録不
要

昨今のグローバル化の流れの中、日本人の英語力向上が急務となっています。これに伴い、小学校での英語の教科化、各学校段階の学びの接続、現役英語教員の英語力や指導力への関心等、様々な観点から英語教育の見直し・改革が進んでいます。

このような現状を踏まえ、本シンポジウムでは、第一部は、4名の音声研究に携わる研究者と2名の中高の現職教員の先生方を迎え、音声研究が英語教育へどのような貢献が可能かという観点から5件の発表をしていただきます。第二部は、発表内容に基づき、現在の音声教育や教員養成の問題点、今後さらにどのように音声研究が英語教育や英語科教員の養成に貢献できるかなど、フロアの皆様を交えて全体討論を行います。

日時: 2017年11月19日(日) 13:10~15:55

場所: 東北大学川内キャンパス (〒980-8576 仙台市青葉区川内41)

C棟2F C200教室

司会 米山 聖子 先生 (大東文化大学)

<第一部: 講演>

荒井 隆行 先生 (上智大学)

「英語教育のための学際的アプローチによる音声研究」

近藤 真理子 先生・小西 隆之 先生 (早稲田大学)

「通じる英語のための発音教育」

田嶋 圭一 先生 (法政大学)

「日本人は英語の blow と below が正確に聞き分けられるか？」

前田 菜摘 先生 (茨城県利根町立利根中学校)

「日本人現役英語教員と日本人大学生の英語の日本語アクセント度について」

中村 祐輔 先生 (埼玉県立大宮東高校)

「高校英語教育の現状と英語教員に求められる資質について」

<第二部: 全体討論>

最新情報は学会 HP (<http://elsj.jp/meeting/>) でご確認ください。

問い合わせ先: 日本英語学会 (elsj-info@kaitakusha.co.jp)